

グローバル社会をどう生きるか

— 多文化交流と教養教育 —

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の三大学は、学生たちにグローバルな時代にふさわしい幅広い教養を身につけてもらうために、教養教育の共同化を推進しています。その目標の一つが、世界の人々の多様な生き方を受け止め、豊かな感性や倫理観を養っていくことです。この府民公開講座では、長年、国際社会の最前線で活躍されている赤阪清隆元国連事務次長をゲストスピーカーに招き、グローバル社会をどう生きていくべきかを、文化の交流や教育のあり方などの観点から考えていきます。



日時 **12月13日(日) 14:00~17:00**

会場 **教養教育共同化施設「稻盛記念会館」**

1階 104講義室

(京都市左京区下鴨半木町1番5 京都府立大学内)

アクセス

- JR京都駅、阪急烏丸駅から 地下鉄烏丸線「北山」下車 1番出口から南へ徒歩7分
- 京阪出町柳駅から 市バス「1」府立大学前」下車 徒歩5分
- JR二条駅から 市バス「206」府立大学前」下車 徒歩5分



■基調講演 **赤阪 清隆氏** (公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長 元国際連合広報担当事務次長)

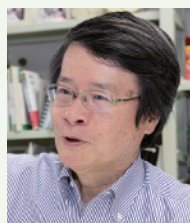
■トークセッション **赤阪 清隆氏** **青山 公三氏** (京都府立大学名誉教授)
田村 うらら氏 (金沢大学特任助教) **脇田 哲志氏** (京都府立大学特任教授)



赤阪 清隆氏

(公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長、元国際連合広報担当事務次長)

1948年大阪府生まれ。京都大学法学部、英国ケンブリッジ大学経済学部卒。1971年に外務省に入省。1997年に地球温暖化防止のための京都議定書の交渉にあたる。2000年に国連日本政府代表部大使。2003年に経済協力開発機構(OECD)事務次長。2007年から5年間、国連広報担当事務次長(広報局長)として、国連の広報強化に努めた。2012年より現職。近著に、「国際機関で見た「世界のエリート」の正体(中公新書ラクレ)」、「世界のエリートは人前で話す力をどう身につけるか」(河出書房新社)がある。



青山 公三氏

(京都府立大学名誉教授、京都政策研究センター長)

1949年名古屋生まれ。73年名古屋大学工学部建築学科卒。76年(社)地域問題研究所に参画。92年渡米。93年よりInstitute of Public Administration(IPA:ニューヨーク行政研究所)。95年ニューヨーク大学公共政策大学院修。04年Urban Policy Institute of New York(UPI:ニューヨーク都市政策研究所)を設立。07年日本帰国。08年京都府立大学公共政策学部教授。11年京都政策研究センター長。地域問題研究所理事長(共に現在に至る)。15年京都府立大学名誉教授。龍谷大学政策学研究所教授。



田村 うらら氏

(金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究中心特任助教)

名古屋生まれ。大学入学より約14年を京都で過ごす。専門は人類学。2003年よりトルコ共和国で調査研究を行なう。2005-2006年、トルコ国立アンカラ大学へ2年間国費留学。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(人間・環境学、京都大学)。現在、リーディング大学院「文化資源マネージャー養成プログラム」担当教員。アジア5カ国の大学院生を相手に、研究指導を行なっている。



脇田 哲志氏

(京都府立大学特任教授、元NHKアメリカ総局長)

1955年和歌山県生まれ。京都大学法学部卒。1979年にNHK入局。プリンストン大学国際公共政策大学院客員研究員を経て、1998年から中国総局長。2007年からアメリカ総局長。2011年から国際放送局長を歴任し、長年にわたりNHKの国際報道に携わった。現在は、京都光華女子大学教授・短期大学部長(現代アメリカ論、国際ジャーナリズム論)、京都府立大学特任教授(京都三大学教養教育研究推進機構担当)。

主催／京都三大学教養教育研究・推進機構(京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学)

後援／京都府、京都府教育委員会、公益財団法人大学コンソーシアム京都

(問い合わせ先)

京都三大学教養教育研究・推進機構

TEL:075-703-4925 FAX:075-703-4979 E-mail:kyouyou@kpu.ac.jp URL:http://kyoto3univ.jp/